

外国人材雇用の現状とこれから

2019年より特定技能1号がスタートし4年目を迎えますが外食産業分野での雇用は全国で5159人(大阪510人・兵庫156人・京都84人)です(2022年12月末時点。出入国在留管理庁HPより)。

外国人を社員として雇用することはまだまだハードルが高く、特定技能制度がスタートし年々外国人採用に前向きな企業が増えてはきましたが大手企業を中心に中小企業ではなかなか導入が進んでいないのが現状です。

採用を検討する企業からは

- 留学生アルバイトなら採用するが社員となると手続きが面倒臭く・費用も掛かる。
- 日本人スタッフ・お客様とのコミュニケーションが心配。
- なんとなく、抵抗がある。
- 日本人採用に困っていない。

既に外国人採用をしている企業からも

- 最初は一生懸命働いていたけれど、慣れてくるとそうでもない。
- 1年で転職した・帰国した。
- 日本人とのコミュニケーションが上手くいかず職場雰囲気が悪くなった。

などの声があります。

結果としては、日本人も外国人も一緒なのです。

国籍・肌の色・習慣等違う部分はありますが、待遇が悪ければ転職しコミュニケーションが上手く行かなければ人間関係がぎくしゃくしてしまいます。

2025大阪・関西万博を2年後に控え、インバウンドが増加し人手不足倒産や閉店の増加が予想されます。今を乗り切るには人材の確保が急務です。

優秀な外国人材はたくさんいます。その優秀な人材を雇用し企業の発展に繋げましょう。

また、外国人材を積極的に採用することで、企業のグローバル化や食文化の向上にも繋がるのが期待されます。

すでに外国人材の採用までもが難しくなっています。

手遅れになる前に、外国人雇用も視野に入れて人材確保を検討されることをお勧めします。

株式会社ジェイオフィス (ORA 賛助会員社)

代表取締役社長 余田 泰洋 (ORA 外国人雇用促進部門会 業務委員)

飲食に特化した求人サイト「グルメキャリア」を運営。30年間培った飲食業界サービスの実績とノウハウを、就職・転職をお考えの方のサポートに活かしています。ユーザーの皆様安心してご覧いただけるよう、掲載クライアント(企業・店)には必ずお会いし、採用担当者から企業(店舗)情報・店舗コンセプト・募集背景・採用条件・求める人材像・ビジョン等を詳しくヒアリングし、「働くイメージが湧く」ことをテーマに求人原稿を制作しています。

